

永福の本欄

2016年

7月号

【今月の特集】

こわい

・

・

・



特集コーナー

こわい・・・



今月は、身も心もひんやりする「こわい話」の特集です。実話を集めた本や、都市伝説のもとになった話、怪談の名作など、ぞくぞくとするような話が目白押しです。こわいけど読み進めたくなる、暑い夏にぴったりの本をご紹介します。

『女たちの怪談百物語』

東雅夫／監修 伊藤三巳華／著(ほか)

メディアファクトリー

請求記号:388メ

ISBN:978-4-8401-3599-3

女性作家10人が語り手となり、行われた百物語を収めた本です。奇妙で恐ろしい実体験や、人から伝え聞いた話、時に怪談ではないこわい出来事など切り口は様々。おススメは、化け物が出るというハワイの心霊スポット「ハワイでの話」です。



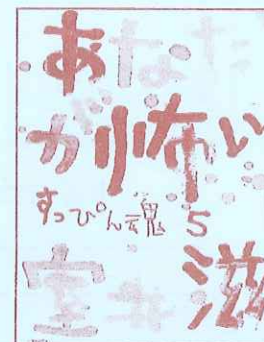
『あなたが怖い』

室井滋／著 文芸春秋

請求記号:914.7ムロ

ISBN:4-16-365320-1

女優、エッセイストであり、絵本も手掛ける著者の人気シリーズ第5弾。背筋が凍るロケ現場での体験談から、天カス出火事件、銀行強盗、深夜の友人の奇行など…。著者の周りで巻き起こる奇妙でコワイ話が満載。気軽に読めるエッセイ集です。



『宮部みゆきの江戸怪談散歩』

宮部みゆき／責任編集 中経出版

請求記号:BGミ

ISBN:978-4-8061-4850-0

宮部みゆきの怪談作品、その舞台となった場所を古地図をもとに巡る一冊。江戸時代と現代を歩き来しながら怪談の世界を楽しめます。他にも怪談短編を収録。普段は、怖い話が苦手という方にもおススメです。



『学校の怪談 口承文芸の展開と諸相』

常光徹／著 ミネルヴァ書房

請求記号:388ツ

ISBN:978-4-623-06780-0

皆さんも一度は耳にしたことのある学校の怪談には、学校によってさまざまな違いがあります。本書は、著者が子どもたちに口承で伝えられている怪談話を集め、民俗学的立場から考察したものです。『学校の怪談』の違いについて、触れてみませんか？



新着図書コーナー

『よく食べ、よく寝て、よく生きる 水木三兄弟の教え』

水木しげる／著 文藝春秋
請求記号:BYミ
ISBN:978-4-16-790623-8



漫画家水木しげるは三兄弟。オシャレな兄とゴルフ好きの弟、三時のおやつは三人揃って楽しみました。70年を一緒に過ごしてきた三人が、お菓子を食べながら話した好きな食べ物、思い出の味。奥さまの布枝さん特製「カナパン」は、思わず作ってみたいくなります。

『ローカル仕事図鑑 新天地のハローワーク』

DECO／編 技術評論社
請求記号:366.2テ
ISBN:978-4-7741-7999-5



都会から離れ、地方で活躍する様々な職種で働く30人をそれぞれの“ローカルワークストーリー”として紹介しています。地域に根ざした仕事は、大変なことも多いけれど魅力あるものばかり。素敵な笑顔の写真がその証です。

『北欧の挿絵とおとぎ話の世界』

海野弘／解説・監修 パイインターナショナル
請求記号:726ハ
ISBN:978-4-7562-4692-9



アンデルセン童話「雪の女王」のふるさとである北欧を舞台に描かれた、数々のおとぎ話や色彩豊かな挿絵を集めたこの1冊は、読者を素敵な物語の世界へ誘ってくれます。挿絵では、日本画の特徴が随所に盛り込まれているのも見どころです。

『語彙力を鍛える 量と質を高めるトレーニング』

石黒圭／著 光文社
請求記号:814イ
ISBN:978-4-334-03924-0



語彙力とは、ただ単に知っている言葉の数が多いだけではなく、文脈に合わせて適切な語を選択する力のことをいいます。本書は語彙の量を増やしなが、さらにその質も高めて真の語彙力を身につける方法を解説しています。

『蚕 絹糸を吐く虫と日本人』

畑中章宏／著 晶文社
請求記号:630ハ
ISBN:978-4-7949-6899-9



近年、富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録され、養蚕業や製糸業への関心が高まりました。明治から昭和にかけて、日本の多くの農家で飼われていた蚕。本書では、蚕と日本人がどのような関係だったのか、その歴史を振り返ります。

『スヌーピーのひみつA to Z』

チャールズ・M. シュルツ／著(ほか) 新潮社
請求記号:726シ
ISBN:978-4-10-602267-8



世界中で愛されている漫画『ピーナッツ』の世界をAnimation、Bible、ComicといったA～Zのキーワードでご案内します。さらに翻訳を担当した谷川俊太郎のエッセイや原画も収録されており、スヌーピーと仲間たちの魅力が全てつめこまれたファン必見の一冊となっています。

えいふくイベントレポート

「けいこ先生とまゆ先生のわくわくリトミックコンサート」

6月5日(日) 午前11時～11時40分



けいこ先生とまゆ先生は主に児童館でリトミックコンサートを行っています。永福図書館には今回初登場です。トーンチャイムの響きから始まったコンサート。赤ちゃんや子どもたちはシーンと、美しい音色に耳を傾けました。そして、楽しいお話や歌が続き、先生たちと一緒に踊ったり、歌ったり。

お母さんの口癖を即興で歌詞に取り入れた歌あり、子どもが転んだりぶついたりした時の歌あり、普段の生活で歌うことができそうな曲が盛りだくさん。



一緒に参加したお父さんやお母さんも楽しんでいる様子でした。

今月のスポット展示 7/8(金)～8/3(水)



「図書の分類 ～請求記号が3からはじまる本～」

図書館は本を分類するために、本の背に請求記号をつけています。新書は杉並区の分類では、請求記号のついていないものもあります。今月は、本来であれば請求記号の最初が「3」の新書や文庫を集めました。政治、経済、法律、教育、職業、風俗習慣、国防・軍事など、人々の生活に関する分野の本です。

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

7月の休館日

7日(木)、21日(木)

大人も参加
できます♪

読書チャレンジ2016

「なつやすみスタンプラリー」

本を借りたり、イベントに参加したり、おすすめの本を書いたりして、1日1つスタンプをもらおう！ スタンプ5つで缶バッジをプレゼント♪

【期間】 7月20日 (水) ～8月31日 (水) まで

一般特別展示 『井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士』～7月10日 (日) まで

永福図書館から徒歩10分のところにある杉並区立郷土博物館では、準常設展として現在「杉並文学館」を開催しています。杉並区にゆかりの深い井伏鱒二を中心に、昭和初期の文士たちを、自筆原稿や書簡、愛用品などとともに紹介しています。近・現代の文学史を彩る多くの作家が暮らしてきた杉並区ならではの展示です。ぜひご覧ください。

この展示に合わせ、図書館では関連書籍を3階フロアにて展示しております。こちらもぜひご利用ください。

—池波正太郎さんの文庫を移動しました—

永福図書館3階、文庫スペース横の「人気時代小説コーナー」に佐伯泰英さんに加え、池波正太郎さんの文庫を移動しました。ぜひ、ご利用ください。

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2016年7月号 (通巻229号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。